

CEATEC 2019

HATS フォーラム 参加募集案内



2019/6/22

HATSフォーラム
(高度通信システム相互接続推進会議)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年10月15日から18日の4日間にて開催されるCEATEC 2019は、「つながる社会、共創する未来」をテーマに、あらゆる産業・業種による「CPS/IoT」と「共創」をテーマとしたビジネス創出のための、人と技術・情報が一堂に会する場とし、経済発展と社会的課題の解決を両立する「超スマート社会(Society5.0)の実現を目指すことを開催主旨としています。

今年のCEATEC は、20周年のメモリアルイヤーを迎え、これまでの「CEATEC JAPAN」という名称をグローバルに来場者・出展者が集う場として「CEATEC」に改め、今後は展示会の枠組みそのものを超えていくための施策にもチャレンジします。

またHATSも昨年8月に30周年のメモリアルイヤーを迎えており、呼称を「HATSフォーラム」に改めました。HATSフォーラムでは、ICT活用の最前線で様変わりしてゆくHATSの取組み、先進の基盤技術・相互接続性やIoT社会に向けた新たなシステム/ソフト/サービスについても積極的にプレゼンテーションしたいと考えております。

さらにビジネス機会の創出に向け、BtoB、BtoB/toCを前提とした企業ユーザ(来場者)へのアプローチを図るために、相互接続関連製品等をより多くの来場者に「接して」「触れて」いただくためのデモンストレーションや体験型の展示も積極的に展開し、ビジネスチャンスを創造して参ります。

是非、本企画主旨にご賛同いただき、ご出展いただけますようお願いいたします。

敬具

CEATEC 2019 開催概要

- 名称 CEATEC 2019 （シーテック 2019）
 （Combined Exhibition of Advanced Technologies）
- 開催主旨 CPS/IoTを活用し、あらゆる産業・業種による「共創」を基本とした
 ビジネス創出と、技術および情報交流などを一堂に会する場を開催し、
 経済発展と社会的課題の解決を両立する「超スマート社会（Society 5.0）」の
 実現を目指す。
- 会期 2019年10月15日（火）～18日（金） 4日間 10：00～17：00
- 会場 幕張メッセ （千葉市美浜区中瀬2-1）
- 入場 無料（全来場者登録入場制）
 ※入場にはオンラインでの登録が必要です
- 主催 CEATEC 実施協議会
 一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）
 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）
 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

《出展テーマ》

つながる安心 未来への挑戦

HATSフォーラムは相互接続試験を通して情報通信機器の接続性向上に取り組み、皆様に安心をお届けします。

HATSフォーラムは各メーカーの情報通信機器の相互接続試験を実際に行うことで、利用者がいつでもどこでも、安心して製品を利用し、自由にシステムを構築できるようにしています。

今回のCEATECの出展では、CPS (Cyber Physical System) / IoT (Internet of Things)、産業展、ビジネス創出を意識し、情報通信分野に関わる業界関係者、ユーザへの情報提供を図ります。



情報通信端末の相互接続試験の成果発表をはじめ、HATSフォーラムの意義と活動概要を分かりやすく紹介します。

HATSの概要や活動内容など
メインステージでの
プレゼンテーションの実施

実際に相互接続が
デモ体験できる
機器紹介・展示コーナー

各分野の取組みや技術解説、
参加メンバー企業の個別
アプローチができるコーナー

出展参加メリット

HATS フォーラムへの参加メリット

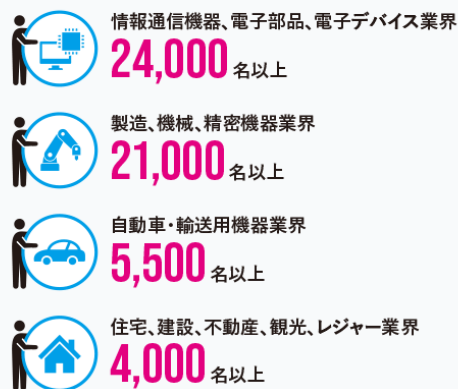
1 政府/官公庁、企業幹部から学生まで **15万人以上が集結する展示会**

2 メディア注目率も高く **PR効果大** 新聞雑誌400記事以上、国内テレビ5時間以上

3 主催者**展示**として、好立地かつ大規模ブースによる **集客率の高い出展ブース**

4 グループ出展のため、個別出展に比べ **出展費などの負担が少ない**

来場者プロフィール

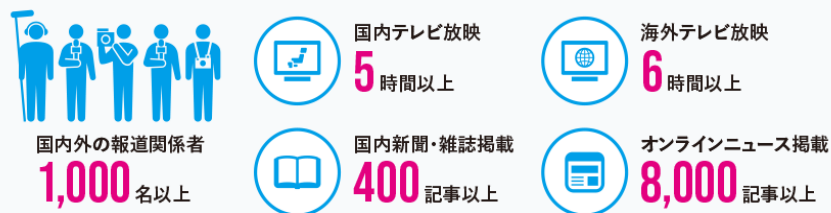


未来を担う“IoT人材”とも言われる学生たちも多数来場しています。



2018年は経済産業大臣、総務大臣、IT政策担当内閣府特命担当大臣をはじめ関連省庁の幹部も多数来場しています。

プレスプロフィール



来場者数/VIP来場結果(2018年実績)

■CEATEC JAPAN 2018 総来場者数 156,063名 (名)

		10/16	10/17	10/18	10/19	合計
		火	水	木	金	
来場者数	来場者	28,454	28,301	34,484	41,017	132,256
	プレス	888	199	142	130	1,359
	出展者	6,252	5,170	5,695	5,331	22,448
合計		35,594	33,670	40,321	46,478	156,063
※2017年の来場者数		31,641	32,866	40,171	45,762	150,440

HATS PLAZAブース内カウント		11,717	12,746	23,664	25,457	73,584
--------------------	--	--------	--------	--------	--------	--------

■ご来場のVIP

《10月16日(火)》

- * 鈴木 淳司 氏 総務省 総務副大臣
- * 安田 充 氏 総務省 事務次官
- * Khin Maung Tun 氏 ミャンマーMPT総裁

《10月17日(水)》

- * 古賀 友一郎 氏 総務省 総務大臣政務官
- * 齊藤 忠夫 氏 HATS推進会議 議長(東京大学名誉教授)
- * 國重 徹 氏 総務省 総務大臣政務官
- * 田沼 知行 氏 総務省 国際戦略局 通信規格課長
- * ASEAN各国の政策責任者

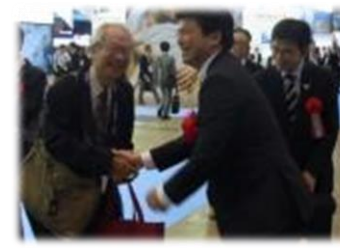
《10月18日(木)》

- * 石田 真敏 氏 総務省 総務大臣
- * 谷脇 康彦 氏 総務省 総合通信基盤局長
- * 佐藤 ゆかり 氏 総務省 総務副大臣
- * 山田 真貴子 氏 総務省 情報流通行政局長
- * 奈良 俊哉 氏 総務省 官房審議官

《10月19日(金)》

- * 大西 英男 氏 総務省 総務大臣政務官

■ご来場の様子



HATS フォーラム 展示構成

参加企業の技術・製品を用いた最新のビジネススタイルを展示や体験デモを通じて紹介。
また課題解決へ向けた新たなワークスタイルも提案し、参加企業のプレゼンスを高めます。

接続試験紹介コーナー

相互接続性を体感できる実機展示やパネルによる活動紹介

各社製品を展示しての相互接続デモ形態による製品紹介や個別アプローチによる展示も可能です。

AV通信機器（HDTV会議）

IP-PBX

FAX

ホームネットワーク

IPカメラ

その他、展示・デモ・プレゼンテーションなどの環境を用意しています。

メインステージ

HATSの相互接続の意義・重要性、各技術分野について、分かりやすく解説し、より多くの来場者への理解促進に努めます。

[昨年までのプレゼンテーション例]

- *HATSの役割と意義
- *PBX連携、プレゼンス機能
- *HDTV会議による多地点会議
- *FAX、クラウド連携
- *IPカメラ、遠隔制御 など

HATSコーナー

HATSの各機器の相互接続性の確保に向けたあゆみの紹介

- *相互接続試験実施の機種推移
- *各連絡会の活動状況
 - ・FAX
 - ・マルチメディア
 - ・PBX

その他の出展

相互接続に付随した各社独自の機能や関連製品の説明パネル、製品カタログによる製品紹介が可能です。

[昨年までの展示例]

- *NGN対応製品
- *各種業務・業種向けシステム連携などのソリューション提案
- *モバイル端末
- *マルチメディア/リッチコンテンツ対応製品
- *IPテレフォニー関連製品
- *セキュア関連製品 ほか

パネルコーナー

説明パネル、製品カタログなどによる製品紹介が可能です。

インフォメーション

運営スタッフを配置し、HATSパンフレットの配布、ブース案内などを行います。

展示概要①

概要：相互接続をアピールする接続試験紹介コーナーの詳細

FAX

画像通信の方法はインターネットの普及とブロードバンドの進化により多様化していますが、FAX（ファクシミリ）は簡単に安心してつながる通信機器として、まだまだ活用されています。

HATS フォーラムでは、FAXの基本機能に加えて、省エネ、セキュリティ、クラウドなどをキーワードとした各社の特長ある製品をアピールできるように、機器展示・デモおよびカタログ出展の場を提供します。

IP-PBX

企業にとって肥大化する通信コストの削減が大きな命題となっており、その解決策として音声情報をパケット化しIPネットワークに流すVoIP技術の活用が広がっています。

本年度は、VoIP通信の制御プロトコルとして、SIP専用線を介した相互接続試験を予定しています。

HATS フォーラムでは、検証試験の結果を踏まえ、音声通信・発信番号表示などの基本機能に加え、付加サービスも可能であることを動態展示によってアピールする場を提供します。

展示概要②

AV通信機器（HDTV会議）

マルチメディア通信機器の主要なアプリケーションの一つに、オーディオ・ビジュアルのリアルタイム通信サービスがあります。

働き方改革とテレワークに対する関心が社会全般で高まりを見せ、労働時間削減とワーク・ライフ・バランスの向上への貢献が期待されています。

HATS フォーラムでは、各社の最新のオーディオ・ビジュアル通信ソリューションのデモ展示により、来場者にその臨場感の高さを広くアピールできる場を提供します。

ホームネットワーク

情報通信技術の急速な発展に伴い、ホームネットワークの利用を前提とした様々な一般家庭向け端末が、販売されています。利用者がこれらの端末を安心して購入し、接続・利用できるようにするためには、ネットワークや端末の相互接続性の確保が重要となります。

このためHATS フォーラムでは、ホームネットワークに係る端末やネットワークの相互接続性の検証を「ホームネットワーク接続TSG」で実施しています。具体的には、これまでにNAT (Network Address Translation) 越えの一方式である、UPnP規格のIGD (Internet Gateway Device) 仕様の相互接続試験やTTC JJ-300.11に基づいた、レイヤー3/レイヤー4の相互接続性としてG3-PLC関係の相互接続を実施しました。

HATS フォーラムでは、これら試験内容に関するデモや各社の最新機器を展示する場を提供します。

IPカメラ

主に監視目的で使用されるIPカメラは、各社独自のコントロールプロトコルでシステム化が進められマーケットに導入されてきました。

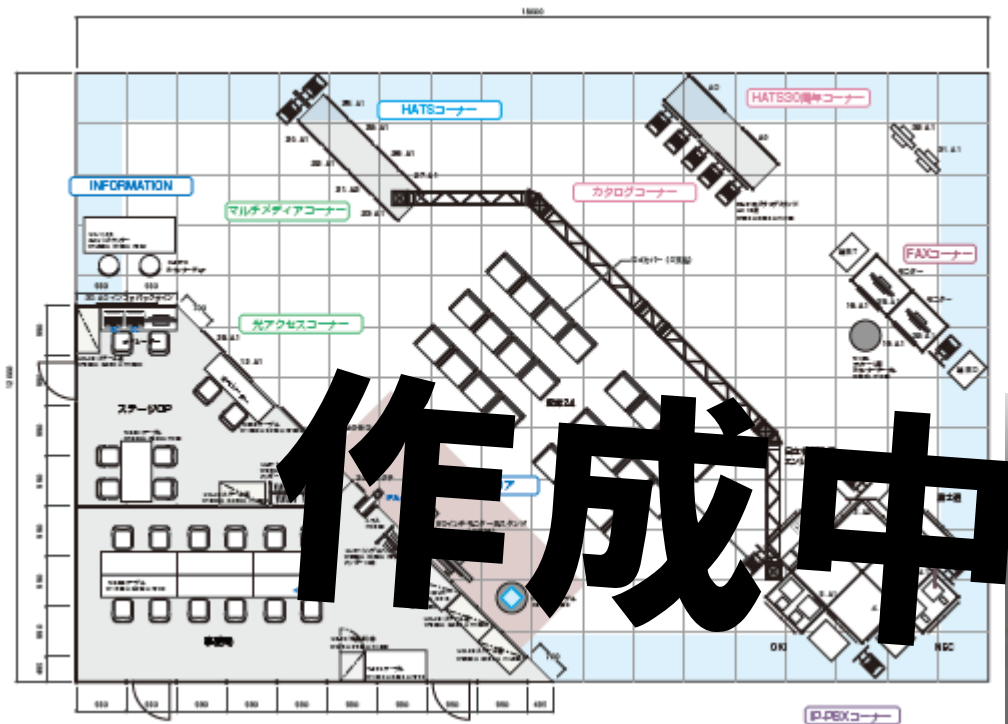
これに対し、システム構築の利便性や機材採用の自由度の向上を目指して、2008年にONVIFという団体がAXIS、Bosch、ソニーの3社によって設立され、このプロトコルの統一が進められてきております。

HATS IPカメラ接続TSGでは、2009年度より、ONVIFが策定した仕様をもとに開発された製品の相互接続性の確認を行い、あわせて仕様の問題点の洗い出しや追加されるべき機能の提案などを日本発として行うことを目的に活動しています。

HATS フォーラムでは、IPカメラ接続TSGの活動の紹介と、接続試験の成果として、各社の最新機器のデモ展示をすることにより、出展各社のシステム提案を行う場を提供します。

ブース装飾案

■ゾーニング案



装飾イメージ

参加概要一覧

■HATSフォーラム

	出展料（税別）	備考
■展示コーナー		
A V通信機器（HDTV会議）	70万円	・展示ブース（以下の物が含まれています。） 展示台、照明器具、コンセント、カタログスタンド1台、 説明パネル〔A1縦サイズ〕1枚＋製品カタログ 2種類、ネットワーク費用 ・CEATEC ホームページ出展者紹介ページ・案内状 ※基本的には、開催までのHATSデモンストレーション実行委員会に参加して頂きます。
I P-P B X		
F A X		
ホームネットワーク		
I Pカメラ		
■パネルコーナー	20万円	説明パネル〔A1縦サイズ〕1枚＋製品カタログ 2種類 ・CEATEC ホームページ出展者紹介ページ・案内状

■その他の出展

出展料（税別）・・・単独出展は70万円 上記展示コーナーに参加された企業は金額としてプラス30万円位の費用を予定しております。 ・基本装飾（展示台、照明器具・コンセント、説明パネル〔A1縦サイズ〕1枚＋製品カタログ1種類、ネットワーク費用） ・CEATEC ホームページ出展者紹介ページ・案内状

★注意：応募状況により、HATS PLAZAの出展内容を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

出展などのお問い合わせ

一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会

〒105-0013

東京都港区浜松町2丁目2番12号(JEI浜松町ビル3階)

電話:03-5403-9354 FAX:03-5403-9360

《担当》ICT機器部 笹野 潤

E-mail 笹野:j-sasano@ciaj.or.jp